

区分	卦(か)	卦 爻 の 本 文
36	地火明夷	めいいい くる てい よ 明夷は、艱しみて貞なるに利ろし。
	初爻	めいやぶる ゆ と つばさ た くんし ゆ い 明夷る。干き飛びてその翼を垂る。君子干き行きて、 さんじつ く ゆ しゅじんげん 三日食わず。往くところあれば、主人言あり。
	二爻	めいやぶる さ こ やぶ すく うまそう きち 明夷る。左股を夷る。もって掬うに馬壮んなれば、吉な り。
	三爻	めいやぶる ゆ なんしゅ たいしゅ え と ただ 明夷る。干きて南狩して、その大首を得たり。疾く貞しく すべからず。
	四爻	ひだりはら はい めいいい ころ え ゆ もんてい い 左腹に入り、明夷の心を獲て、干きて門庭を出ず。
	五爻	き し めいやぶる ただ よ 箕子の明夷る。貞しきに利ろし。
	六爻	あき くら はじ てん のぼ あと ち はい 明らかならずして、晦し。初めは天に登り、後には地に入 る。

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田 真治、後藤 基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。